

すこやかだより

香川県立白鳥病院 訪問看護担当



～レスパイト入院について～

ご自宅でご家族の介護をしながら、身体的にも精神的にも疲れてしまうことがあります。また、冠婚葬祭などの参加をしたいけれど見てくれるところを探すことが出来ずあきらめていることもあるかと思います。その様なときに利用していただけるレスパイト入院についてご紹介します。

レスパイト入院とは

レスパイトとは「一時休止」「休息」「息抜き」という意味です。

レスパイト（介護休暇目的）入院とは、在宅看護で介護者が日々の介護に疲れを感じ、介護力の限界を超え、介護不能となることを予防する目的で短期間の入院をすることができます。例えば、近親者の冠婚葬祭、介護者の病気、出産など家族の事情で一時的に在宅介護が困難になった場合に病院に患者さんを一時的に移し、医療保険を利用する入院のことです。

入院から退院までの流れ

- ① 当院の診療を受けている患者さんの介護者から外来診療時・在宅訪問時にレスパイト入院の依頼をします。
- ② 依頼があれば、主治医に情報提供し、病床の空床状況と介護者の都合を合わせて主治医が入院を決定します。（基本入院期間は10日程度を上限としています。）
- ③ 病床へ入院して在宅で行っていたケアを継続します。
- ④ 入院期間が終了すれば在宅に退院します。

レスパイト入院Q&A

Q: 一度レスパイト入院をした場合、数か月間隔をあけないとレスパイト入院はできないのですか？

A: 間隔は一定期間あけなくても再度レスパイト入院は可能です。

Q: レスパイト入院は日帰りでもできるのですか？

A: 日帰りでのレスパイト入院はできません。

1泊2日よりレスパイト入院できます。

お気軽にお問い合わせください。

